※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	日本史探究　（実教出版）						
副教材等	最新日本史図表　（第一学習社） 日本史　重要語句 Check List　（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史の時間軸を実感する。
・歴史的事象にその原因と結果を考察する視点を持つ。
・過去の歴史から現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

①歴史的事象と現在との結びつきを調べ考える活動を通して，現代の社会やその諸問題が歴史的に形成されたものであるということ，歴史を学ぶ意義に気付く。
②歴史の展開を，年表や地図，その他の資料に基づいて学習し，その発展の過程を理解する。
③日本の歴史の展開を，地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察することを通して，ものごとを実証的な考察によってとらえる歴史的思考力を身に付ける。
④主体的な歴史学習を通して，現代の日本と世界の抱える諸課題について考察し，国際社会において平和で民主的な国家・社会を形成するために，私たちが果たすべき役割について考える。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。また、文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、歴史的過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って、追究している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	原始・古代の日本と東アジア	第1章　日本文化のあけぼの	a：旧石器時代と縄文時代・弥生時代の人々の生活や社会、文化についての基本的な事柄を自然条件の変化や大陸とのかかわりと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 b：旧石器時代と縄文時代・弥生時代の人々の生活や社会、文化から課題を見いだし、自然環境や大陸からの文化の影響と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c：旧石器時代と縄文時代・弥生時代の人々の生活や社会、文化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りレポート
		第２章　ヤマト政権の成立と古墳文化	a：弥生時代から古墳時代の社会の変化や人々の生活、国家の形成過程についての基本的な事柄を東アジア世界の状況と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 b：弥生時代から古墳時代の社会の変化や人々の生活、国家の形成過程から課題を見いだし、東アジア世界の状況と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c：弥生時代から古墳時代の社会の変化や人々の生活、国家の形成過程に対する関心と課題意識を高め、追究している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

		第３章　律令国家の形成	a：ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、国家形成と律令体制の確立過程、東アジア世界との交流などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。 b：ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、国家形成と律令体制の確立過程、東アジア世界との交流などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 c：ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、追究している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りレポート
２学期	原始・古代の日本と東アジア	第4章　古代の国家・社会の変容	a：平安時代の社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係の変化、地方における支配体制の動揺などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。 b：平安時代の社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、東アジア世界との関係の変化、地方における支配体制の動揺などと関連付けて、多面的多角的に考察している。 c：平安時代の社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

	中世の日本と世界	第1章　荘園公領制の成立と院政 第2章　中世の国家・社会の展開	a: 公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 b: 公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化から課題を見いだし、公家政権・公家文化と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りレポート
3学期	中世の日本と世界	第3章　中世の国家・社会の変容	a: 建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 b: 建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度